

# 『源氏物語』の心を読む

## ～若菜下の巻・下～

開講計画 全10回／各90分

回	日付	曜日	10:30～12:00
1	4/10	水	源氏、女性論の総括をする
2	4/24	水	紫の上、突如、二条院に移る
3	5/8	水	柏木、小侍従に手引きさせる
4	5/22	水	紫の上に、六条御息所の死霊出現
5	6/12	水	柏木の胤を宿し、女三の宮、体調崩す
6	6/26	水	源氏、女三の宮の懐妊を知る
7	7/10	水	柏木、源氏、女三の宮の欠点を思う
8	7/24	水	朱雀院の御賀、延引
9	8/7	水	試楽当日、源氏、柏木をにらむ
10	8/28	水	重病になり、柏木、父の邸に移る

受講料 17,000円(教材費別)

定員 35名

## あはれの文学『源氏物語』に感動し、 人間の宿業(すくごう)を噛(か)みしめましょう

老いて源氏は、紫の上と我が人生を回顧し、関わった女性達について語ります。何と言われようと、寄る辺のない紫の上は、突如発病し、二条院に移り療養します。皆が、二条院であたふたとして、六条院はひっそりとした間に、柏木が、侍女に手引きさせ、女三の宮に忍び込みます。源氏の正妻は、若い柏木に犯されます。しかし落としていた柏木の手紙を見つけた源氏は、いっさいを気付き、泥酔を装い、柏木に老いのコンプレックスを口にしてみせます。こうして柏木は、死の床に伏します。(前期で終わらない時は、後期に続くかもしれません。)

講師

本学名誉教授

うめのこ  
梅野 きみ子

### テキスト・教材

初回、教室にてテキストを販売します。  
お持ちでない方は、講座申込み時に注文してください。  
テキスト以外に、他の本の持ち込みも可能です。

- ①宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語 若菜下』  
編者 石田穰二 新典社 1,980円(税込)
- ②仮名変体集  
編者 伊地知鐵男 新典社 385円(税込)  
※①は必須、②は任意 ※2024年1月現在